

日本株投資戦略4月号

-新年度の決算期待が高まる-

令和3年4月1日

アイザワ証券 市場情報部

2021年4月1日発行／審査番号：210401-B1

LINE公式アカウント
はじめました！

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa

- ・ 3月の株式市場
- ・ 3月の主要指数の月間騰落率
- ・ 日経平均と投資主体別売買高
- ・ ドル円相場
- ・ 水素社会の切り札～アンモニア
- ・ 今月のストラテジー
- ・ 今月の銘柄
 - 日本電産
 - ソニー
 - ソフトバンクグループ
 - 宇部興産
 - TOWA
 - 新光電気工業
 - 鹿島建設
 - 三菱UFJフィナンシャルグループ
 - SOMPOホールディングス

マーケット情報

円、ポイント

	価格	移動平均線乖離率(%)		騰落率(%)			年初来高値	年初来安値
		25日	200日	1ヵ月	3ヵ月	1年		
日経平均	29,178	▼0.5	14.7	0.7	6.3	54.2	30,467	27,055
TOPIX	1,954	0.5	13.4	4.8	8.2	39.2	2,012	1,791
東証2部	7,496	0.6	12.2	2.3	14.0	43.5	7,608	6,590
JASDAQ	3,938	1.9	8.3	3.7	5.8	33.3	3,942	3,723
マザーズ	1,203	0.6	3.1	▼0.8	0.5	94.0	1,320	1,147

◆ バリュース株相場。3月の日経平均は月間で+0.7%の上昇で終え、昨年10月以降、実に5ヵ月連続の上昇となった。3月半ばには、日銀がETFの買い入れ対象として日経平均連動型を除外すると発表したことから相場が崩れる局面もあったが月末にかけて持ち直す格好となった。3月はバリュース株が物色され、TOPIX500バリュース指数は月間で+6.0%、TOPIX500グロース指数は+3.0%の上昇であった。

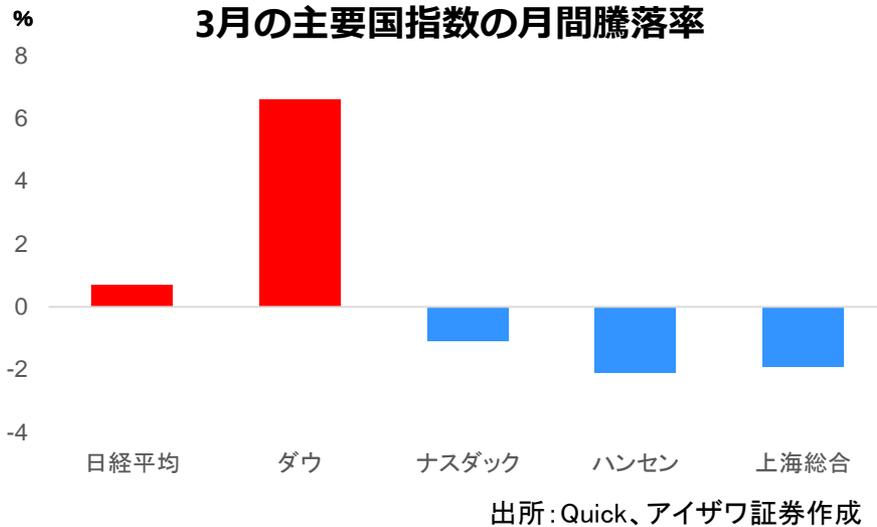
◆ 3月の新興市場は、JASDAQが+3.7%、マザーズが▼0.8%で終えた。3月も引き続きバリュース株相場となったなかで、グロースの中小型株のパフォーマンスは冴えない動きであった。

日経平均月間パフォーマンス			
上昇率上位		終値(3月31日)	値上がり率
7004/T	日立造	895	32.2
9107/T	川崎船	2,535	26.4
5301/T	東海力	1,787	24.0
9101/T	郵船	3,775	23.6
5411/T	JFEHD	1,363	21.9
7752/T	リコー	1,124	21.9
7003/T	三井E&S	557	21.6
4004/T	昭電工	3,150	21.4
7912/T	大日印	2,319	21.2
5401/T	日本製鉄	1,887	20.4
1928/T	積水ハウス	2,374	18.9
5201/T	AGC	4,630	18.7
8303/T	新生銀	1,789	17.7
1808/T	長谷工	1,549	17.5
7735/T	スクリン	9,740	17.4
8002/T	丸紅	921	16.3
1812/T	鹿島	1,571	15.7
9104/T	商船三井	3,875	15.2
6902/T	デンソー	7,347	15.0
7012/T	川重	2,742	14.8

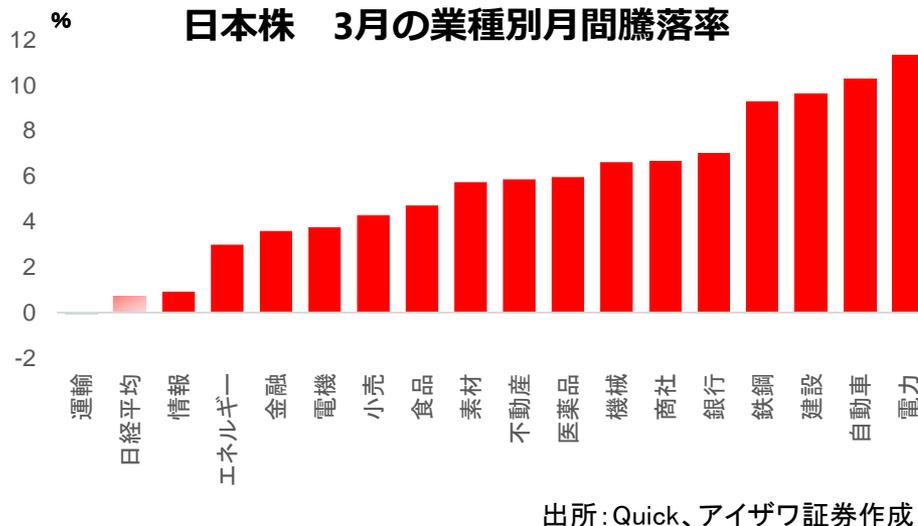
マザーズ月間パフォーマンス			
上昇率上位		終値(3月31日)	値上がり率
3180/T	Bガレージ	3,840	66.5
2351/T	ASJ	1,270	53.4
3912/T	モバファク	1,517	51.6
6184/T	鎌倉新書	1,279	45.0
3021/T	PCNET	4,025	40.2
3675/T	クロスマークG	553	37.2
3913/T	sMedio	1,278	29.6
3689/T	イゲニス	2,998	28.0
3031/T	ラケンHD	2,704	26.5
3328/T	BEENOS	2,908	25.9
6036/T	KeePer技	2,471	25.6
6033/T	イクストリーム	1,450	24.9
7172/T	JIA	1,678	24.7
3825/T	REMIX	205	23.5
6180/T	GMOメディア	1,764	21.2
3696/T	セレス	4,675	19.9
3665/T	エニグモ	1,382	19.6
3810/T	サイバーS	872	19.5
3680/T	ホットリンク	733	19.2
6067/T	インバク	2,580	18.2

出所: Quick、アイザワ証券作成

主要指数の騰落率



- ◆ ダウが高パフォーマンス: 3月の主要国の株価指数のパフォーマンスは、米国の景気刺激策による景気回復期待を背景に、NYダウが大きく上昇して日経平均をアウトパフォーマンスした。ハイテク銘柄の構成比率が高いナスダックやハンセン、上海総合などの中国株指数が軟調であった。

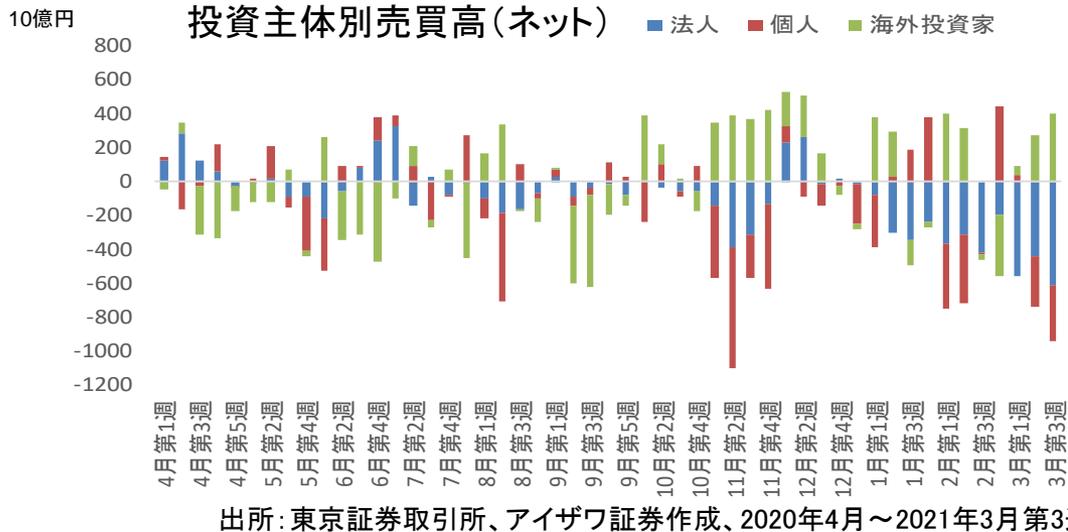


- ◆ ディフェンシブが高パフォーマンス: 3月の業種別月間騰落率では17業種中、運輸を除いた16業種が上昇した。業種別に上昇率が高い順に、電力、自動車、建設となっており、ディフェンシブセクターの上昇率が大きかった。折からの円安ドル高の影響によって、自動車を買われた。一方で、いままで相場を引っ張ってきたグロース株が軟調に推移したことから、日経平均のパフォーマンスは低調であった。

日経平均と投資主体別売買高

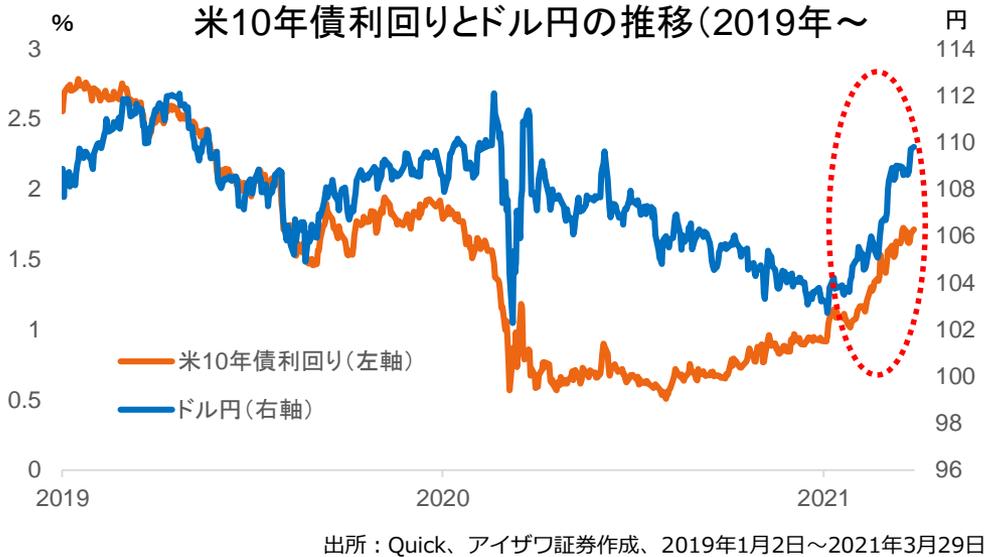


- ◆ 高値圏で調整色を強めた相場環境：3月の日経平均は高値は3万485円、安値は2万8308円と概ね2万9500円を挟んだ展開であった。3月の日経平均は月間で+212円 (+0.7%) の小幅上昇であったが、3月単月としては5年ぶりの上昇で終わった。3月末の日経平均は200日移動平均線を14.7%上回っており、短期では調整局面が入っても不思議ではない環境であったといえよう。



- ◆ 海外投資家が3週連続買い越し：3月の投資主体別売買動向では、海外投資家が3週連続で買い越しであった。一方で、法人、個人は売り越しが目立ち、相場の上値を抑えた。個人が売り越し基調であったことから、個人投資家の間で人気が高い新興の中小型株が軟調に推移した。

ドル円相場



- ◆ ドル円は110円台へ：為替市場では、米10年債利回りが上昇している影響から、ドル円レートは円安ドル高が進行している。米国の10年債利回りは米国の景気回復を織り込むように2%に近づくといえ、一段の円安ドル高へと期待が高まる。
- ◆ 歴史的な低利回りからの戻り局面：過去1年間の米10年債利回りの推移をみると、夏場から上昇トレンドとなっているが、長期スパンでみると、依然として歴史的な低水準である。このことから、米10年債利回りは更なる上昇となる可能性が高いといえよう。
- ◆ 昨年の4月時点における懸念材料は、低成長、低金利、低インフレといった「世界経済の日本化」であった。米国10年債利回りの上昇は、米国経済の回復シグナルととらえており、世界経済の日本化を逃れた兆候であるといえよう。

株価は2021年3月30日終値

コード	銘柄名	株価 円	予想PER 倍	PBR 倍	配当 利回り %	要点
4004	昭和電工	3,190	-	1.14	2.0	プラスチック製容器をリサイクルしてアンモニアを製造
4021	日産化学	5,980	27.3	4.63	1.6	東京大学が開発した効率的なアンモニア合成方法の実用化に取り組む
4114	日本触媒	6,500	259.1	0.81	1.4	触媒技術が発電、アンモニアを水素へ変換することなどで活用期待
4208	宇部興産	2,417	18.8	0.72	3.7	国内最大のアンモニア製造会社。工業用用途がメイン。
5331	ノリタケ	3,635	26.2	0.49	1.7	アンモニアを直接燃焼できるアンモニア燃料電池の部品を開発
6330	東洋エンジ	738	43.2	1.35	-	アンモニアプラントで様々な実績
7013	IHI	2,287	339.8	0.99	-	アンモニアを活用して火力発電所からの二酸化炭素を削減する技術を開発

出所:Quick、各種資料、アイザワ証券作成

☆予想PER、配当は今期日経予想、PBRは実績

水素発電とアンモニア発電のコスト比較

	水素発電 (2020年時点試算)	アンモニア発電 (2018年時点試算)
製造	海外水素製造 (天然ガス+CO ₂ 販売) 11.5円/Nm ³	海外水素製造 (天然ガス+CO ₂ 販売) 11.5円/Nm ³ 海外アンモニア製造 4.3円/Nm ³
輸送	水素輸入 (ローリー輸送+液化+積荷+海上輸送) 162円/Nm ³	アンモニア輸入 (積荷+海上輸送) 2.3円/Nm ³
発電コスト	専焼 97.3円/kWh	専焼 23.5円/kWh

出所:資源エネルギー庁のデータをもとにアイザワ証券作成

- ◆ 脱炭素社会の到来に向けて、低コストで水素を輸送する媒体（キャリア）としてアンモニアへの注目が高まっている。アンモニアの分子式はNH₃だが、H（水素）とN（窒素）から構成されている。燃料としての水素の課題は高額なコストである。輸送コストが高額で難しい水素をアンモニアに変えて輸送、利用する場所で水素に戻して使用することにより、より安価な水素の提供が可能となる。
- ◆ アンモニアは燃焼しても二酸化炭素を排出しないことから石炭を使用した火力発電所での使用が期待されている。

3月の相場→調整相場の中でバリュー株が買われる

◆ここ数年の日経平均は3月に軟調な展開が続き、3月単月としては、2017年から2020年まで月間パフォーマンスは4年連続でマイナスであった。このように、3月相場は弱い傾向にあった。日経平均は昨年11月から月間で4ヵ月連続で上昇していたことから、3月は調整含みの軟調な相場展開が想定され、実際には日銀が3月中旬に日経平均連動型ETFを除外すると発表したことから一時は相場が崩れる局面もあったが、月末にかけて持ち直して3月は小幅な上昇で終えた。

◆新年度の企業決算に期待：2015年から2020年の5年間、4月の月間パフォーマンスは6年連続で上昇している。これは3月の株価パフォーマンスが軟調であったことと、新年度の企業決算への期待である。今年の新年度の決算見通しについては、①世界経済のコロナからの回復期待、②政策による内需への挺入れ期待、③円安ドル高期待、などによって増益への期待が高い。このため、日経平均は将来の業績拡大への期待から、調整をこなしながら先高観が高いとみている。

投資スタンス

4月下旬から、3月決算企業の決算発表が本格化する。新年度の決算見通しについては勝ち組と負け組の2極化に大きく分かれるだろうが、基本的には増益への期待度が高いといえ、株価は企業の業績期待から再評価される機運が高まるとみている。足元では半導体不足による産業界へのマイナス影響が懸念されているが、増産への取り組みなどによって夏場以降には本格的な企業業績への回復期待が高まるものとみている。半導体についてはインテルが米アリゾナ州に200億ドル（1ドル110円換算で2兆2000億円）を投じて新工場を建設すると発表した。東京エレクトロンの株価が3月31日に上場来高値をつけるなど関連銘柄への期待が高まっている。現在の日経平均は調整局面となってバリュー株優位の相場となっているが、調整後の相場ではグロース株が優位とみており、調整局面のグロース株を拾いたいところだ。

横山泰史

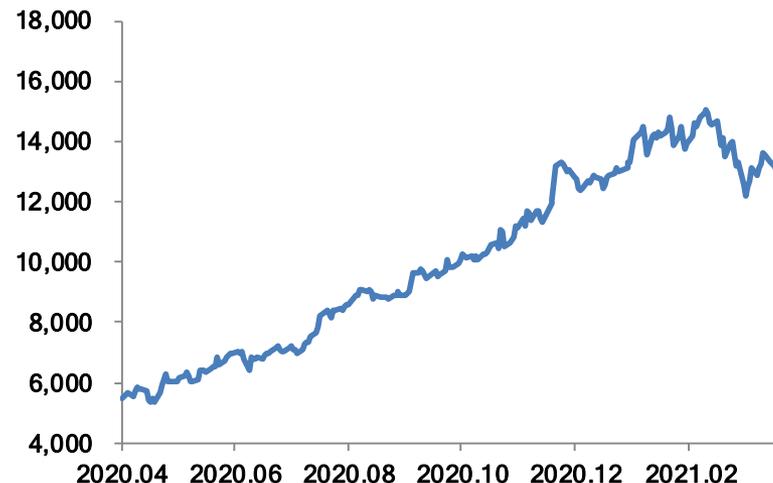
今月の注目銘柄

- ・ 日本電産
- ・ ソニー
- ・ ソフトバンクグループ
- ・ 宇部興産
- ・ TOWA
- ・ 新光電気工業
- ・ 鹿島建設
- ・ 三菱UFJフィナンシャル・グループ
- ・ SOMPOホールディングス

株価:(2021/03/30)	13,350円
52週高値:(2021/02/16)	15,175円
52週安値:(2020/04/06)	4,989円
予想PER	65.1倍
PBR	7.95倍
予想配当利回り	0.44%
時価総額	79,603億円
取引単位	100株
主たる上場取引所	東証 1部

出所: QUICK

日足チャート(円)2020/04/01~2021/03/30



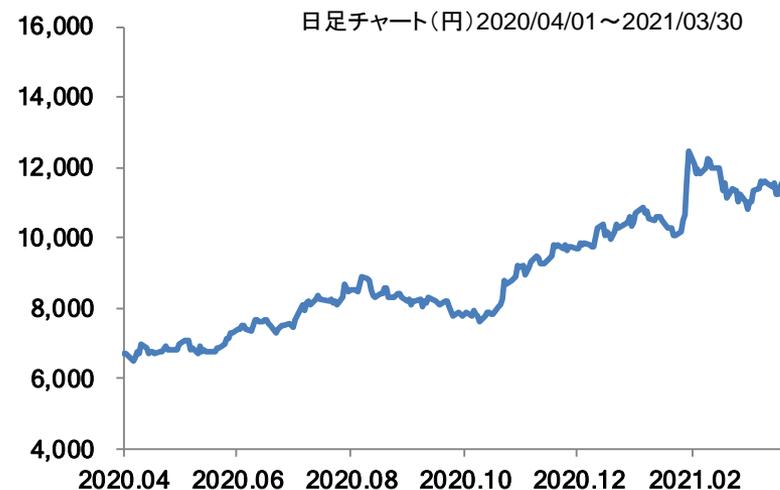
- ◆ 2021.3期第3四半期累計（4-12月の9ヵ月）の決算は、売上高が前年同期比+2.2%の1兆1850億円の増収となって第3四半期累計としては過去最高を更新、営業利益は増収効果とコスト削減効果によって同+24.0%の1155億円と2桁の増益を確保した。
- ◆ 2021.3期通期の業績予想について、売上高は従来予想比で据え置いたが、営業利益は従来予想の1400億円から1550億円へと+150億円に上方修正した。（横山 泰史）

■業績推移	売上高		営業利益		税前利益		純利益		EPS(円)	配当金(円)
2019/03 実績	14,754	—%	1,292	—%	1,298	—%	1,099	—%	186.5	52.5
2020/03 実績	15,348	4.0%	1,103	▼14.6%	1,069	▼17.6%	600	▼45.4%	102.1	55.0
2021/03 予	15,500	1.0%	1,550	42.6%	1,500	42.6%	1,200	105.3%	204.9	60.0

国際基準 (単位: 億円、予: 会社予想) EPS、配当1株当たり、2020年4月1日より1株を2株に株式分割を実施、遡及修正済) アイザワ証券作成

株価:(2021/03/30)	11,495円
52週高値:(2021/02/05)	12,545円
52週安値:(2020/04/01)	6,161円
予想PER	13.0倍
PBR	2.63倍
予想配当利回り	0.47%
時価総額	144,958億円
取引単位	100株
主たる上場取引所	東証 1部

出所: QUICK



- ◆ 20年10-12月(3ヵ月)の売上高は前年同期比+9.4%の2兆6965億円、営業利益は同+19.7%の3592億円であった。新しくリリースされたプレイステーション5の10-12月の販売台数は450万台と好調に推移して増収増益を牽引した。
- ◆ 2021.3期通期の会社予想の上方修正を発表。修正額は売上高+3000億円、営業利益+2400億円である。修正後の営業利益率は10%超えの見通し。(横山 泰史)

業績推移	売上高		営業利益		税前利益		純利益		EPS(円)	配当金(円)
2019/03 実績	86,656	1.4%	8,942	21.7%	10,116	44.7%	9,162	86.7%	723.4	35.0
2020/03 実績	82,598	▼4.7%	8,454	▼5.5%	7,994	▼21.0%	5,821	▼36.5%	471.6	45.0
2021/03 予	88,000	6.5%	9,400	▼11.2%	11,200	40.1%	10,850	86.4%	—	—

米国基準(単位:億円、予:会社予想 EPS、配当1株当たり、2021.3期は非開示) アイザワ証券作成

株価:(2021/03/30)	9,172円
52週高値:(2021/03/16)	10,695円
52週安値:(2020/03/30)	3,465円
予想PER	8.4倍
PBR	2.11倍
予想配当利回り	0.45%
時価総額	191,677億円
取引単位	100株
主たる上場取引所	東証 1部



出所: QUICK

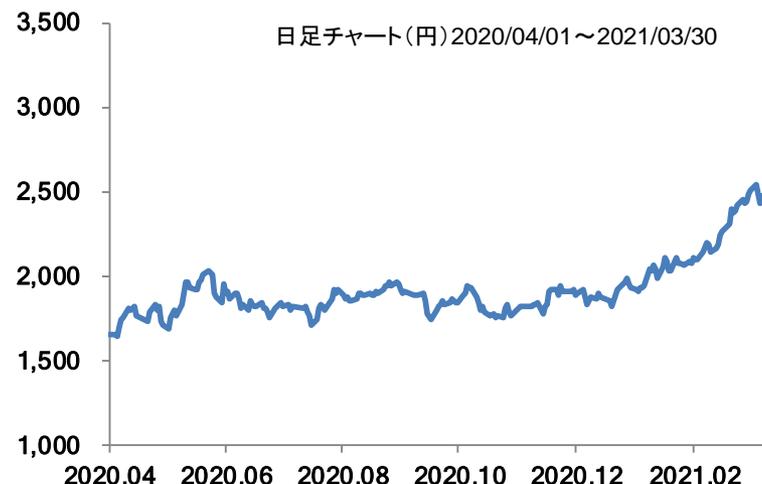
- ◆ 2021.3期第3四半期累計（4-12月の9ヵ月）の売上高は前年同期比+6.1%の4兆1380億円、純利益は同6.4倍の3兆552億円であった。大幅な増益は、投資事業であるSVF（ソフトバンク・ビジョン・ファンド）が好調に推移したことが要因。
- ◆ SVFの累計投資成果（スタート時点から2020年12月末）は、SVF1は価値増加が40社、価値減少が43社で投資利益は+2.1兆円、SVF2は価値増加は5社、価値減少が4社で投資利益は+0.5兆円である（1ドル103.50円換算）。（横山 泰史）

業績推移	売上高		営業利益		税前利益		純利益		EPS(円)	配当金(円)
2019/03 実績	60,935	—%	20,736	—%	16,826	—%	14,111	35.8%	634.0	44.0
2020/03 実績	61,850	1.5%	▼13,646	—%	354	▼97.9%	▼9,615	—%	—	44.0
2021/03 予	—	—%	—	—%	—	—%	—	—%	—	—

IFRS (単位: 億円、予: 会社予想) EPS、配当1株当たり) アイザワ証券作成

株価:(2021/03/30)	2,417円
52週高値:(2021/03/23)	2,559円
52週安値:(2020/04/03)	1,520円
予想PER	18.8倍
PBR	0.72倍
予想配当利回り	3.72%
時価総額	2,566億円
取引単位	100株
主たる上場取引所	東証 1部

出所: QUICK



- 化学製品、セメントやプラスチック成型機などを製造するメーカー。売上高セグメントは合成ゴムやナイロン樹脂を扱う化学、セメントなどを扱う建設資材、成型機などを扱う機械から構成されている。
- 国内最大のアンモニア製造企業。昨年はアンモニア事業の一層の強化を目的に、子会社であった宇部アンモニア工業を吸収合併した。(横山 泰史)

■業績推移	売上高		営業利益		経常利益		純利益		EPS(円)	配当金(円)
2019/03 実績	7,301	5.0%	445	▼11.3%	478	▼5.7%	324	2.6%	312.3	80.0
2020/03 実績	6,678	▼8.5%	340	▼23.6%	357	▼25.3%	229	▼29.3%	227.3	90.0
2021/03 予	5,920	▼11.4%	215	▼36.8%	175	▼51.0%	130	▼43.4%	128.5	90.0

日本会計基準(単位:億円、予:会社予想) EPS、配当1株当たり) アイザワ証券作成

株価:(2021/03/30)	2,151円
52週高値:(2021/01/15)	2,341円
52週安値:(2020/03/30)	689円
予想PER	21.9倍
PBR	1.83倍
予想配当利回り	0.74%
時価総額	538億円
取引単位	100株
主たる上場取引所	東証 1部



出所: QUICK

- 2021.3期第3四半期累計（4-12月の9カ月）の決算は、半導体製造ライン向けコンプレッション装置の販売が好調で、売上高は前年同期比+10.2%の207億円、営業利益は23.3億円（前年同期は1.9億円）と収益性は大きく改善した。
- 20年10-12月（3カ月）の受注については前年同期比で2倍以上となる+115.6%の140.6億円と大幅増加。（横山 泰史）

■業績推移	売上高	営業利益	経常利益	純利益	EPS(円)	配当金(円)
2019/03 実績	283 ▼8.8%	9 ▼74.6%	9 ▼73.5%	9 ▼71.0%	35.1	16.0
2020/03 実績	253 ▼10.7%	8 ▼13.3%	6 ▼31.1%	4 ▼58.0%	14.8	16.0
2021/03 予	290 14.8%	33 306.3%	34 425.5%	25 564.3%	98.0	16.0

日本会計基準(単位:億円、予:会社予想 EPS、配当1株当たり) アイザワ証券作成

株価:(2021/03/30)	3,365円
52週高値:(2021/03/30)	3,380円
52週安値:(2020/04/06)	889円
予想PER	33.9倍
PBR	3.12倍
予想配当利回り	0.74%
時価総額	4,548億円
取引単位	100株
主たる上場取引所	東証 1部

出所: QUICK

日足チャート(円)2020/04/01~2021/03/30



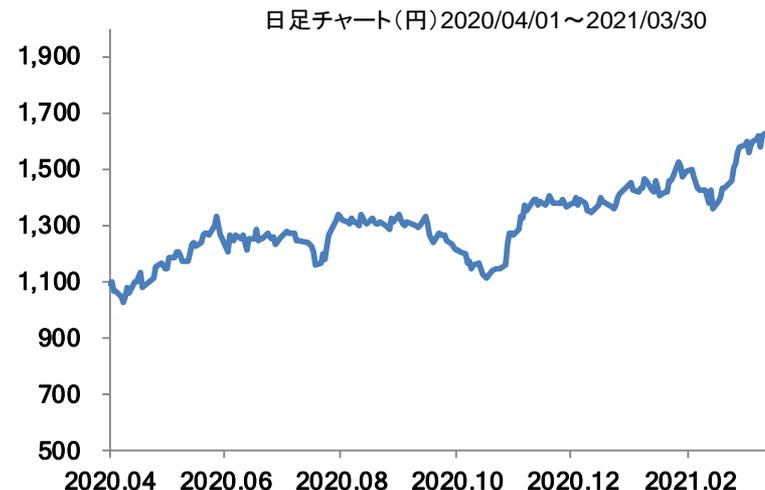
- ◆ 半導体パッケージの開発・製造をおこなう。半導体の性能を高める方法として、高機能なパッケージに対する重要性が高まっている。高機能パッケージは単価が高く、足元における収益性の改善に貢献している。
- ◆ 高付加価値なICパッケージの需要はサーバーを中心に当面年率で2桁の成長が予想され、新たな成長ステージの入り口に立ったといえよう。(横山 泰史)

業績推移	売上高	営業利益	経常利益	純利益	EPS(円)	配当金(円)
2019/03 実績	1,422 ▼3.3%	48 ▼1.0%	76 33.5%	25 ▼31.1%	18.7	25.0
2020/03 実績	1,483 4.3%	32 ▼33.4%	48 ▼37.1%	26 6.5%	19.9	25.0
2021/03 予	1,773 19.5%	135 318.2%	147 205.4%	100 271.7%	74.0	25.0

日本基準 (単位:億円、予:会社予想 EPS、配当1株当たり) アイザワ証券作成

株価:(2021/03/30)	1,619円
52週高値:(2021/03/29)	1,660円
52週安値:(2020/04/03)	994円
予想PER	10.2倍
PBR	0.96倍
予想配当利回り	3.08%
時価総額	8,558億円
取引単位	100株
主たる上場取引所	東証 1部

出所: QUICK



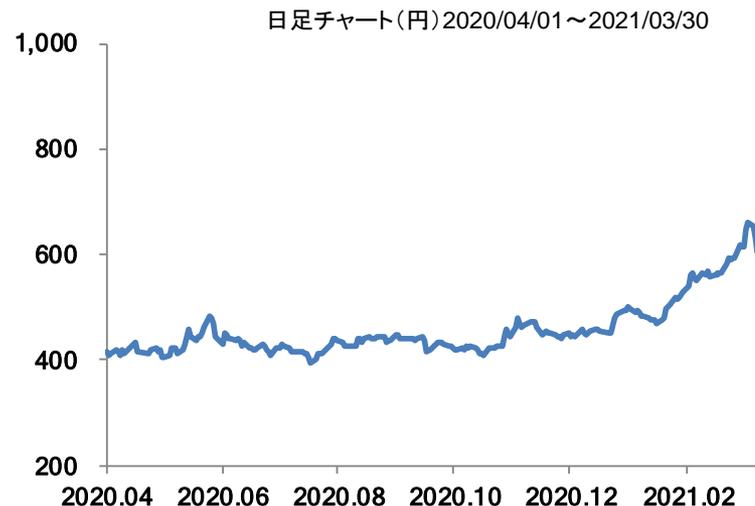
- ◆ 建設大手（スーパーゼネコン）の一角、国内建設工事（建築、土木）が主力、海外や不動産にも展開。都市再開発など国内建設需要は高水準継続。
- ◆ 2021年3月期3Q（第3四半期）累計実績は 減収・営業増益、新型コロナ影響は一部にとどまり、完成工事利益率は想定よりも上振れ。通期会社予想に対する利益進捗率は87~96%に達し、単体工事繰越高は1.7兆円弱を確保。（水口 活也）

■業績推移	売上高		営業利益		経常利益		純利益		EPS(円)	配当金(円)
2019/03 実績	19,743	7.8%	1,426	▼9.9%	1,629	▼9.4%	1,098	▼13.4%	211.7	38.0
2020/03 実績	20,108	1.8%	1,320	▼7.5%	1,466	▼10.0%	1,032	▼6.0%	201.0	50.0
2021/03 予	19,100	▼5.0%	1,150	▼12.9%	1,230	▼16.1%	800	▼22.5%	156.8	50.0

日本基準(単位:億円、予:会社予想 EPS、配当1株当たり) アイザワ証券作成

株価:(2021/03/30)	615.5円
52週高値:(2021/03/22)	660.3円
52週安値:(2020/04/06)	383.4円
予想PER	14.3倍
PBR	0.47倍
予想配当利回り	4.06%
時価総額	83,597億円
取引単位	100株
主たる上場取引所	東証 1部

出所: QUICK



- ◆ 銀行大手（メガバンク）の一角、銀行、信託、証券、カード・ローンなどに展開。米国とアジアに地域銀行、モルガンスタンレーは持分法適用関連会社。
- ◆ 2021年3月期3Q（第3四半期）累計実績は 減収・経常減益、与信費用積み増しが主因だが、市場関連は好調。3Q段階で通期会社純利益目標6000億円を超過。財務健全性は維持、株価指標に割安感、株主還元上乘せに期待。（水口 活也）

■業績推移	経常収益		経常利益		純利益		EPS(円)	配当金(円)
2019/03 実績	66,974	10.4%	13,480	▼7.8%	8,726	▼11.8%	66.9	22.0
2020/03 実績	72,990	9.0%	12,357	▼8.3%	5,281	▼39.5%	40.9	25.0
2021/03 予	—	—%	—	—%	6,000	13.6%	—	25.0

日本基準(単位:億円、予:会社予想 EPS、配当1株当たり) アイザワ証券作成

株価:(2021/03/30)	4,328円
52週高値:(2021/03/19)	4,514円
52週安値:(2020/05/14)	3,039円
予想PER	10.9倍
PBR	0.81倍
予想配当利回り	3.92%
時価総額	16,157億円
取引単位	100株
主たる上場取引所	東証 1部

出所: QUICK



- ◆ 国内損害保険大手の一角、自動車や火災など損害保険が主力だが、生命保険や海外保険、介護にも事業展開。災害影響を収益多様化とリスク分散で吸収。
- ◆ 2021年3月期1Q（第1四半期）の実績は増収・増益、順調な進捗。通期会社予想は増益を据え置き、新型コロナウイルス影響▼140億円（海外保険、資産運用、介護など）を織り込み済み。国内外損害保険事業の引受利益改善が見込まれる。（水口 活也）

■業績推移	経常収益		経常利益		純利益		EPS(円)	配当金(円)
2019/03 実績	36,430	▼3.4%	1,989	40.2%	1,466	4.9%	392.2	130.0
2020/03 実績	37,603	3.2%	1,924	▼3.3%	1,225	▼16.4%	334.1	150.0
2021/03 予	—	—%	2,230	15.9%	1,400	14.3%	391.7	170.0

日本基準(単位:億円、予:会社予想 EPS、配当1株当たり) アイザワ証券作成

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：藍澤証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第6号

（本社）東京都中央区日本橋1-20-3

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）



株式投資の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大1.265%（最大149,875円、2,750円に満たない場合は2,750円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大1,650円

コールセンター発注 約定代金が55万円以下の場合1,650円、約定代金が55万円超3,000万円以下の場合3,300円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大1.265%（最大149,875円、2,750円に満たない場合は2,750円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。

本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。

結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。

執筆担当者またはアイザワ証券と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。

このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。